

令和3年度(第1回)
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
概評と今後の動向

エネルギーシステム分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
東京工業大学 特命教授
柏木 孝夫

今回の応募と採択について

- 応募案件(当分野)は1件→1件を採択
- 今回の応募案件の特徴
 - 複数の施設で構成されるイノベーションセンター計画の中心となる「本館棟」の新築プロジェクト

採択案件の概評

潮見プロジェクト(本館・新築)

提案者: 清水建設株式会社

<概評>

- 快適で健康なワークプレイスの実現と省CO₂を両立する建築・設備計画のほか、水素コージェネレーションや最適制御など、多様な先進的技術を導入するもので、新規性やモデル性を有する意欲的な取り組みと評価した。
- カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みや、各種技術の実証結果が広く公表され、波及・普及につながることを期待する。

今後の期待

- 電力と熱の両面からのシステム全体の最適化や脱炭素化、BCP対応
- 周辺地域も含めたエネルギー利用の効率化やエネルギー需給バランスの制御につながる提案
 - 新築を起点に周辺の既存建物の脱炭素や省エネに貢献する提案
 - エネルギーシステムだけではなく、建築的対策にも積極的に取り組む提案 など

令和3年度(第1回)
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
概評と今後の動向

省エネ建築・設備分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
慶應義塾大学 教授
伊香賀 俊治

今回の応募と採択について

- 応募案件(当分野)は4件→4件を採択
(採択内訳:一般部門3件、中小規模建築物部門1件)
- 今回の応募案件の特徴
 - 東京・名古屋・山梨の超大規模～中小規模のオフィスや、神戸の水族館の新築提案
 - 今回の募集から新たに設定された優先課題(課題2 省CO₂の実現と健康性・快適性等の向上)に対応する取り組みが多く提案された。
 - SDGsへの貢献、ウェルネスオフィスやカーボンニュートラルの実現を掲げる提案が多く見られた。

採択案件の概評① <一般部門>

芝浦一丁目計画における省CO₂先導事業

提案者: 野村不動産株式会社
野村不動産ビルディング株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東京ガス野村不動産エナジー株式会社

<概評>

- 都心の大規模プロジェクトとして、ウェルネスオフィスの実現や各種環境認証に積極的に取り組み、カーボンニュートラルを目指す取り組みは先導的と評価した。
- 既存の地域冷暖房施設とも連携し、コージェネレーションシステムを活用したカーボンニュートラルのモデルとなることを期待する。

採択案件の概評② <一般部門>

(仮称)名古屋丸の内一丁目計画

提案者: 清水建設株式会社
富国生命保険相互会社
清水総合開発株式会社

<概評>

- 建築計画、設備計画におけるバランスの良い省エネ対策によってZEB Readyを達成するとともに、再生可能エネルギー由来電力等を組み合わせてカーボンニュートラルの実現を目指す取り組みは先導的モデルになり得るものとして評価した。
- SDGsに関わる評価のほか、各種環境認証取得も目指しており、実証結果と合わせて積極的な広報が展開され、波及・普及につながることを期待する。

採択案件の概評③ <一般部門>

須磨海浜水族園 再整備事業

提案者：株式会社サンケイビル
三菱倉庫株式会社
JR西日本不動産開発株式会社
株式会社竹中工務店
阪神電気鉄道株式会社
芙蓉総合リース株式会社
Daigas エナジー株式会社

<概評>

- 井水や海水を積極的に活用し、温度差利用やゼロウォーターアクアリウムを目指す取り組みは、水族館ならではの省CO₂対策として評価できる。
- SDGsに貢献する取り組みも含めて、来園者などに分かりやすい広報・情報発信を行い、波及・普及につながることを期待する。

採択案件の概評④ <中小規模建築物部門>

キトー山梨本社計画

提案者：株式会社キトー

<概評>

- 地方都市における中小規模の事務所ビルとして、CASBEE・Sランク、BELS・5つ星の達成を目指し、建築計画、設備計画において多様な技術がバランス良く提案され、中小規模建築物への波及性・普及性が期待できるものと評価した。

今後の期待

- 採択事例の少ない地域の提案
- 過去の採択事例で提案された様々な省CO₂技術を上手く活用し、省CO₂の波及・普及につながる提案
- カーボンニュートラルの実現に向けた道筋を明示する取り組み、SDGsへの貢献につながる取り組み、省CO₂の実現とともに付加価値の増進につながる取り組み など

令和3年度(第1回)
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
概評と今後の動向

生産・住宅計画分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
東海大学 准教授
中野 淳太

今回の応募と採択について 〈一般部門〉

- 応募案件(当分野)は2件→2件を採択
(共同住宅 1件→1件、戸建住宅 1件→1件)
- 応募案件の特徴と評価
 - 各戸に設置する燃料電池システム等を活用しつつ大規模分譲マンションでZEHの実現を目指す提案
 - 地域工務店によるレジリエンスやSDGsに関する取り組みをアピールした戸建住宅の提案
 - プロジェクトが着実に実施されることで、住宅分野におけるゼロエネルギーやSDGs等に関する取り組みの波及、普及につながることを期待

採択案件の概評① <一般部門>

脱炭素社会の実現に向けた 課題解決型大規模ZEHマンション

提案者：三井不動産レジデンシャル株式会社
東邦ガス株式会社

<概評>

- 各戸に設置する家庭用燃料電池システムを地域の分散型電源としても活用しつつ、大規模なZEHマンションの展開を目指す取り組みは先導的と評価した。
- HEMSの活用実績も含め、地域のエネルギーシステムとも連携した運用による効果の検証結果が公表され、さらなる波及・普及につながることを期待する。

採択案件の概評② <一般部門>

レジリエンス対応・建築環境SDGs先導プロジェクト

提案者：株式会社WELLNEST HOME九州

<概評>

- 高い断熱性能、省エネ性能を備え、レジリエンスやSDGsに関する取り組みをアピールする住宅を展開する取り組みは先導的と評価した。
- 提案する戸建住宅が着実に実現され、さらなる波及・普及につながることを期待する。

今回の応募と採択について 〈LCCM住宅部門①〉

■ 部門の概要(平成30年度に創設)

- 住宅建設時のCO₂排出量も含めライフサイクルを通じてCO₂の収支をマイナスにするライフサイクルカーボンマイナス(LCCM)住宅を新築する事業を支援
- LCCO₂の算定結果が0以下となるものなどの基本要件を全て満足し、省CO₂技術の波及・普及に資するものを採択

■ 応募 48件(1,133戸)→48件(2年間で792戸)を採択

今回の応募と採択について 〈LCCM住宅部門②〉

■ 応募案件の特徴

- 住宅の年間供給実績戸数が数戸から1万戸超までの幅広い事業者からの応募があった。
- 多くが長期優良住宅の認定取得を目指し、断熱性能の向上や高効率設備の採用など、バランスの良い取り組みを提案。
- 初めて本部門に応募する一定数の事業者も見られ、取り組みの広がりがうかがえる。

今回の応募と採択について 〈賃貸住宅トッパー事業者部門〉

■ 部門の概要(令和2年度に創設)

- 住宅トッパー基準(賃貸住宅)を上回る省エネ性能を有する賃貸住宅を新築し、賃貸住宅の省エネ・CO₂の促進に向けた先導的な取り組みを提案する事業を支援
- 提案内容が基本要件などに適合するものを採択

■ 応募 1件(960戸)→1件(2年間で960戸)を採択

- 開口部などの断熱性能の向上のほか、自社及びグループ会社のポータルサイトにBELSなどの省エネ性能を表示することなどを提案

今後の期待

■ 一般部門

- まだまだ取り組みが遅れている**既存住宅**の省CO₂促進
- **地域特性**を踏まえた省CO₂型住宅の展開
- 波及や普及に向けた**実効性ある体制や工夫**を凝らした取り組み
(住まい手への訴求、作り手の技術力や営業力の向上など)

■ LCCM住宅部門・賃貸住宅トッパー事業者部門

- **全国**の様々な事業者による積極的な展開